

專門實踐教育訓練明示書

[illegible]

〔特記事項〕

教育課程と指定規則との対比表

(理学療法士学校) (びわこリハビリテーション専門職大学リハビリテーション学部理学療法学科)

指定規則の教育内容								別表第一													
教育課程								基礎分野		専門基礎分野				専門分野				計			
区	分	実習科目	授業科目	配当年次	単位数	1単位当たりの時間数	履修方法及び卒業要件	基盤的思考の	人間と生活	社会の理解	の機能の発達及び心身の造身と	進回成病リテリ保健	回復り立ハ医療	過稀の及フ社	の及びの	理学療法管理理学	理学療法評価学	理学療法治療学	地域理学療法	臨床実習	
								14			12	14	4	6	2	6	20	3	20	101	
①基礎科目	基礎科目	人間と社会の基礎科目	学びの基礎	1前	2	15	30	②	②												20
			コミュニケーション論	1前	2	15	30		②												
			データサイエンス入門	1前	2	15	30		②												
			教育学	1前	2	15	30		②												
			倫理学入門	1前	2	15	30		②												
			心理学	1後	2	15	30		②												
			社会学	1前	2	15	30		②												
			地域の歴史と伝統文化	1前	2	15	30		②												
			□ スポーツ実習	1通年	1	30	30		①												
			生命科学	1前	2	15	30		②												
			バイオメカニクス入門	1後	2	15	30		②												
			統計学	2後	2	15	30		②												
			英語	1前	2	15	30		②												
			医療英語	1後	2	15	30		②												
			中国語	1後	2	15	30		②												
小計(卒業要件)								20			0	0	0	0	0	0	0	0			
②臨床専門科目	臨床専門科目	臨床専門科目	解剖学Ⅰ	1前	2	15	30				②										90
			解剖学Ⅱ	1後	2	15	30				②										
			生理学Ⅰ	1前	2	15	30				②										
			生理学Ⅱ	1後	2	15	30				②										
			□ 解剖生理学実習	1後	1	30	30				①										
			救急援助論	3前	1	15	15														
			内科学Ⅰ	2前	2	15	30														
			内科学Ⅱ	2後	1	15	15														
			神経内科学Ⅰ	2前	2	15	30														
			神経内科学Ⅱ	2後	1	15	15														
			整形外科Ⅰ	2前	2	15	30														
			整形外科Ⅱ	2後	2	15	30														
			病態生理学	1後	2	15	30														
			公衆衛生学	3前	1	15	15														
			社会福祉学	2前	2	15	30														
			人間発達学	1後	1	15	15				①										
			精神医学	1後	1	15	15														
			小児科学	2前	2	15	30														
			老年医学	2前	1	15	15														
			運動学Ⅰ	1後	2	15	30				②										
			運動学Ⅱ	2前	1	15	15				①										
			□ 運動学実習	2後	1	30	30				①										
			リハビリテーション概論	1前	2	15	30														
			基礎理学療法Ⅰ	1前	1	15	15														
			基礎理学療法Ⅱ	1後	1	15	15														
			□ 基礎理学療法実習Ⅰ	1後	1	30	30														
			□ 基礎理学療法実習Ⅱ	2後	1	30	30														
			基礎理学療法研究法	3前	1	15	15														
			臨床技能論	3前	1	15	15														
			理学療法管理理学	4後	2	15	30														
			理学療法評価学	4後	1	15	15														
			□ 理学療法評価学実習Ⅰ	2前	1	30	30														
			□ 理学療法評価学実習Ⅱ	2前	1	30	30														
			理学療法評価学演習	3前	1	30	30														
			運動療法学	2前	2	15	30														
			□ 運動療法学実習	2後	1	30	30														
			□ 徒手理学療法実習	3前	1	30	30														
			□ 物理療法学実習	2後	1	30	30														
			日常生活活動学	2前	1	15	15														
			□ 日常生活活動学実習	3前	1	30	30														
			義肢装具学	2前	1	15	15														
			□ 義肢装具学実習	2後	1	30	30														
			神経障害系理学療法実習演習	2後	1	30	30														
			□ 神経障害系理学療法実習	3前	1	30	30														
			運動器障害系理学療法実習演習	2後	1	30	30														
			□ 運動器障害系理学療法実習	3前	1	30	30														
			内部障害系理学療法実習演習	2後	1	30	30														
			□ 内部障害系理学療法実習	3前	1	30	30														
			□ 小児期理学療法実習	3前	1	30	30														
			老年期理学療法実習	3前	1	15	15														
			□ 疾患別理学療法評価学実習	2後	1	30	30														
			□ スポーツ理学療法実習	4前	1	45	45														
			地域理学療法実習	2後	2	15	30														
			□ 地域理学療法実習	3前	1	30	30														
			臨床理学療法実習Ⅰ	1後	1	45	45														
			臨床理学療法実習Ⅱ	2前	1	45	45														
			臨床理学療法評価実習	3通年	4	45	180														
			臨床理学療法総合臨床実習Ⅰ	3後	6	45	270														
			臨床理学療法総合臨床実習Ⅱ	4前	7	45	315														
			臨床理学療法地域実習	4前	1	45	45														
小計(卒業要件)								90													
③展開科目	展開科目	展開科目	教育心理学	2前	2	15	30														20
			マーケティング論	2後	2	15	30														
			施設起業運営論	3前	1	15	15														
			ボランティア論	1後	2	15	30														
			生涯スポーツ論	1前	1	15	15														
			地域共生論	3前	2	15	30														
			教育支援論	2前	1	15	15														
			ノーリフティングケア論	3前	1	15	15														
			障がい者スポーツ論	2後	1	15	15														
			□ 障がい者スポーツ論実習	3前	1	30	30														
			体力測定論	3後	1	15	15														
			健康増進実践実習	3後	1	15	15														
			パフォーマンス向上論	3前	2	15	30														
			ランニングトレーニング論	3後	1	15	15														
			ロボット工学活用論	3後	1	15	15														
身体障がい者就労環境論	3前	2	15	30																	
コミュニケーション援助論	3前	1	15	15																	
小計(卒業要件)								20													
④総合科目	総合科目	総合科目	協働連携論	4後	2	15	30														4
			□ 理学療法総合実習	4通	1	30	30														
			□ リハビリテーション総合実習	3通	1	30	30														
小計(卒業要件)								4													
卒業要件単位数(履修単位数)																					
指定規則に対する増増単位数								134													
								8	2	4	0	0	0	0	0	21	1	0	0		

※ 指定規則に抵触しない科目20単位がある
 ※ 科目名の制約は： 新カリキュラムへの移行により、2021年度以降は原則開講されない科目。可履修者は、担任・教務委員の指示に従い、統括先の科目を履修すること（一部例）
 例）臨床栄養科H
 例）臨床栄養科以外の栄養・食料科H

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	56	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	83	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数		人	受験率(③/②)		%
④ ③のうち合格者数		人	合格率(④/③)		%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	55	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	0	人	就職・在職率(⑤+⑥/②)	66.2	%

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		56	人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	0	人	②A: 就業者計	
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人	②B: 非就業者計	0人
	4 非就業	56	人		
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	0	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる	0	人		
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	0	人		0人
④ 受講後の就業形態	1 正社員	52	人	④A: 就業者計	
	2 非正社員、派遣社員	3	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人	④B: 非就業者計	55人
	4 非就業者	1	人		
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	0	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)	
	2 1割以上3割未満増加した	0	人		
	3 1割未満増加した	0	人		
	4 変わらない	0	人		
	5 1割未満減少した	0	人		
	6 1割以上3割未満減少した	0	人		
	7 3割以上減少した	0	人		0人
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	0	人	⑥の回答数合計	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	0	人		
	4 早期に転職・再就職できる	0	人		
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	37	人		
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	0	人		
	7 趣味・教養に役立つ	0	人		
	8 その他の効果	0	人		
	9 特に効果はない	3	人		40人
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	55	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	1	人		56人
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	18	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	2 おおむね満足	21	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		
	4 やや不満	1	人		
	5 大いに不満	0	人		40人

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価 等)

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法 (通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	次項6(3)、(4)に記述。
---	----------------

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

6. 受講効果の把握方法			
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)		「履修及び試験に関する規程」において、試験の受験資格として「出席時間数が授業時間数の2/3以上であること」を必須としている。その上で各科目がシラバスにおいて定めている評価方法(試験、レポート等)・割合に則り評価を行う。	
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法		筆記試験、実技試験、レポート試験等	
(3) 修了認定基準		休学期間を除き、本学に4年以上在学すること。	
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識		学則第22条に定める卒業要件単位数を修得した者には教授会	
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法		担任・チューター・教科目担当教員が対応し、個別指導を行っている。	
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例：資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)		正規授業外に国家試験対策講座を30時間程度実施するとともに外部模試を実施し、到達度を把握している。キャリア支援センターが就職の手引きを発行し、就職ガイダンスを複数回実施するとともに、年1回合同就職説明会を開催している。	
8. その他の事項			
指定教育訓練実施者名 及び代表者名		学校法人 藍野大学 (代表者名： 山本 嘉人)	
住所及び連絡先		大阪府大阪市阿倍野区文の里3丁目15番47号 TEL 072-621-3764	
施設名称及び施設長名		びわこリハビリテーション専門職大学 (施設長： 田中 弘一郎)	
住所及び連絡先		滋賀県東近江市北坂町967 TEL 0749-46-2311	
苦情受付者	氏名 岩崎康司 所属 総務グループ	事務担当者	氏名 久保愛 所属 総務グループ
連絡先	TEL 0748-20-1212	連絡先	TEL 0749-46-2311
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 4,400,000 円		
支払い方法	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		250,000 円
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	① 一括払 ② 分割払 ③ 両方可 4,150,000 円 第1期 500,000 円 第2期 500,000 円 第3期 525,000 円 第4期 525,000 円 第5期 525,000 円 第6期 525,000 円 第7期 525,000 円 第8期 525,000 円 (うち、必須教材費 円)	
		2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 1,116,168 円	
	① 任意の教材費(税込額)		円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)		円
	③ 施設維持費(税込額)		800,000 円
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)		316,168 円
	3. 総額 (1+2) (税込額)		5,516,168 円